

「高知の授業の未来を創る」推進プロジェクト ～いつでも どこでも 誰でもが学べる場～

# 授業づくり講座 in 香南市立佐古小学校



【教材研究会】令和3年5月18日  
【授業研究会】令和3年7月9日

他教科のレポートも掲載予定！  
HPをご参照ください。  
発行:令和3年7月 東部教育事務所



- 1 言語活動を通した単元づくり
- ～指導と評価の一体化～
- 2 授業力の向上
- ～教材分析と授業省察～
- 3 人のつながり、学びの高まりの構築
- ～他者との交流から学びの質を高める講座～

収録済



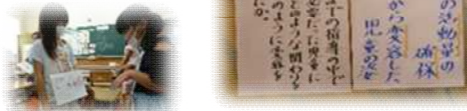
## 教材研究会を受けて ～変更点～

- ① 評価の観点から言語活動の変更  
…自分を知ってもらうために、I like～. だけではなく I don't like ～.も追加した
- ② 話すこと[発表]の【思・判・表】【主態】を見取る活動の変更  
…行動観察だけではなく、リフレクションシートでも評価することにした。
- ③ 目指す子供の姿の具体化  
…子供の言葉で、見方・考え方を指導案に明記した。



英語科の3つの視点で、第1回佐古小学校授業づくり講座における学びをまとめました。

## 1 言語活動を通した単元づくり ～指導と評価の一体化～



### 授業研究会

第3学年 Unit4 「I like blue.」(Let's Try! 1) 授業者：藤田 夏美 教諭

領域別目標	「話すこと[発表]イ」自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。
単元目標	自分のことを知ってもらうために相手に伝わるように工夫して自分の好みを紹介する。

	1	2	3	4(本時)	5
活 言 動 語	・オリジナルの虹を紹介する。 ・単元の見直しを持つ。	・好きな物を1つ、友だちに伝える。	・自分の好み(好きな物、あまり好きでない物)を紹介し合う。	・自分のことを知ってもらうために、好きな物やあまり好きでない物を友だちとわかりやすく紹介し合う。	・自分のことを知ってもらうために、学級のみんなに分かりやすく紹介し合う。
考 見 方 ・	日本語のピンクやオレンジの言い方と違って、pinkはpを強く言ったり、orangeはoを強く言っているね。	I like ～.を使うと、自分の好きな物を友だちに伝えることができる。自分の好きな物を言えば、友だちに自分のことを伝えられるんだ。	I don't like ～.を使って、自分の好きではない物も伝えられるといいね。黄緑が好きだけど、何と言うのかな。黄色がyellowで、緑がgreenだから、合わせてyellowgreenかな。指さしながら言うと、黄緑も伝わりやすいね。	〇〇さんは、私に好きな物知らないから、大きくジェスチャーをして伝えよう。〇〇くんは、自分が好きな物を知っているから、好きでない物を特にゆっくりに話して伝えよう。	前の時間に〇〇さんが、一番好きな物を言うときに大きくジェスチャーを付けていたり、アイコンタクトに気を付けていたりしたから、真似してみよう。
評 価	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。		話すこと(発表)【知・技】	話すこと(発表)【思】【主態】	話すこと(発表)【知・技】【思】【主態】

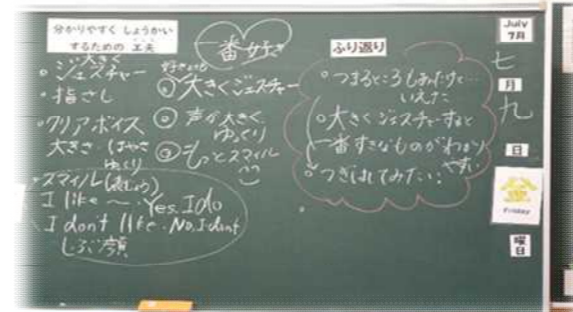
授業者より～毎時間、児童に「自分のことを知ってもらうために」という単元ゴールを意識させながら言語活動に取り組んだ。本時は、分かりやすく伝える工夫について考えてほしかったが、活動後あまり変容が見られなかったため、今日の講座から授業改善につなげたい。

## 2 授業力の向上 ～教材分析と授業省察～

### 【協議の視点】

①児童の学習改善につながる指導が行われていたか。

- 発表したい、聞いてもらいたいという児童が多く、児童の言い慣れが十分にできている。
- 肯定的評価を的確に入れていたので、児童の意欲向上につながっていた。
- 評価を話すことにしぼったことにより、指導がより明確に行われている。
- 指導の後で変容が見られたかどうか、机間巡視で見取り、前に出させて全体共有するとよかった。



みんなで考えれば色々な視点からアイデアも学びもたくさん出てきますね！

### 【協議の視点】

②見方・考え方を働かせることができるような言語活動であったか。

- 活動の前に「自分のことを知ってもらうために」という目的を教師が確認していたため、児童は目的意識をしっかりと持って活動していた。
- I don't like～.で表現するときの表情を工夫したことが良かった。ジェスチャーで伝えようとする姿がたくさん見られた。
- あまり変容が見られなかった。目的・場面・状況に応じた表現であったか。態度面だけでなく、伝えたい内容面を取り上げるとよかった。
- ある児童が好きな物や好きでない物を言った後「なぜかという～」と、日本語で説明していたが、これが1番言いたいこと、知りたいことではないだろうか。理由を伝えるにはどうしたらよいか、考えさせても良かったのでは？「なぜ？」の部分をもっと深めることが大切！児童の言葉を拾い、分かりやすい日本語に砕き、既習表現を使って英語で伝えられないか、全体共有するともっと思考が深まってよかったのではないかと思う。

## 3 人のつながり、学びの高まりの構築～他者との交流から学びの質を高める講座

### 【授業づくり講座で気付いたこと・学んだこと】参加者アンケートより

- ・単元を通して子供たちにどのような力を付けるのか、目指す子供の姿を指導者がしっかり持つておくようにしたい。
- ・活動量の確保、目的・場面・状況(必然性)、言語活動の充実(Hello Time)を目指したい。
- ・単元ゴールに向かうための思考の流れや活動の設定の重要性を感じた。ただ伝えるだけでなく、その理由や背景を伝えることで本当に伝えたいこと、話したいことにつながると思う。
- ・子供を本気にさせる(見方・考え方)課題を常に意識したい。主体的に「どうしたらよいか」を考えさせる。「コミュニケーションスキル」+「英語表現」そのための目的・場面・状況を見極めていきたい。
- ・見方・考え方を働かせることができるような言語活動を考えたり、児童の学習改善につながる指導について、考えたりしていきたいと思いました。児童が問いを持ち、相手や場面を変え、活動する時間を確保していくことを大切に意識していきたい。
- ・子供の困り感からつぶやきや様子を見取って、どんなことを知りたいと思っているか、新しい発見ができるようにしていきたい。